

「丹波型テレワーク推進事業」

ホームワーカーズコミュニティ株式会社（兵庫県丹波市）

コンソーシアム名	地域密着型テレワーク「プラグイン型テレワーク推進プロジェクト」		
コンソーシアム参加機関名 (下線は代表機関)	<u>ホームワーカーズコミュニティ(株)</u> 、兵庫県丹波市、佐治倶楽部(関西大学佐治スタジオ)、(株)ご近所(一社) 日本テレワーク協会、日本電気(株)関西支社		
実施類型・人数	類型A：1人	類型C：4人	
実施地域	兵庫県丹波市		
事業概要	テレワークを通じて仕事・生活環境の両面から地域コミュニティと密接な関わり合いができる仕組みを作り、移住予定者がテレワークを体験することで、移住イメージの醸成・移住後の満足度向上に繋げ、移住者と地域がWin-Winの関係となり地域を活性化することが狙い。		



平成28年度 ふるさとテレワーク推進事業
「丹波型テレワーク推進事業」
ホームワーカーズコミュニティ株式会社（兵庫県丹波市）

■整備した拠点の概要

衣川會館コワーキングスペース 〒669-3811 兵庫県丹波市青垣町佐治 6 0 8

※改修対象は1階一部と2階/1階はコミュニティスペースとして運営中

利用対象：制限なし（個人・法人・職種制限なし）

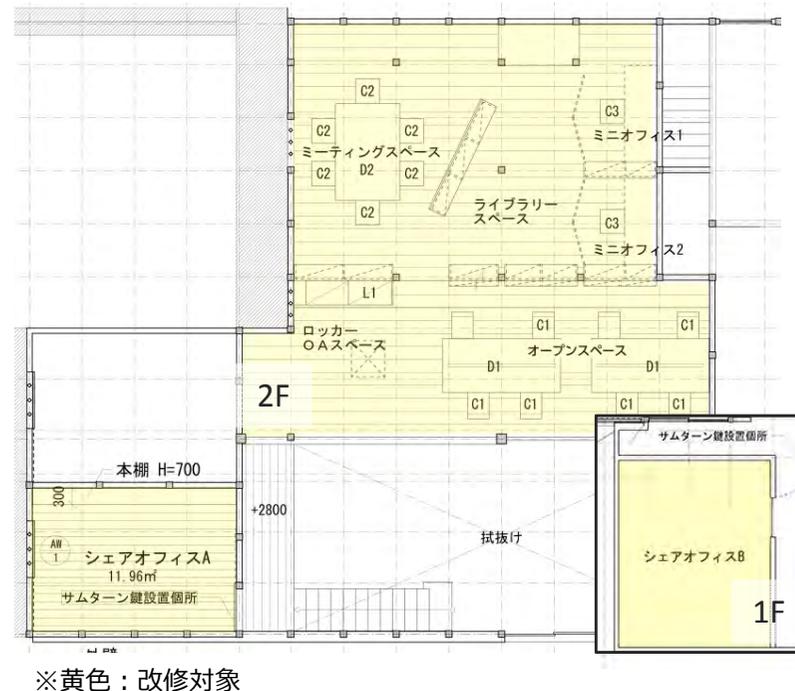
部屋割：オープンスペース/ミニオフィス×2/シェアオフィス×2
ミーティングスペース/ライブラリスペース/ロッカー・OAスペース

収容人数：計16名（オープンスペース8名/ミニオフィス2名/シェアオフィス6名）

設備：Wifi完備、ロッカー、オープンキッチン、会議用ディスプレイ

システム：オンラインしごと相談システム

IT・Web関連職の個人事業主を対象とし、オンラインで都心の同業者に
作業方法についての相談ができるシステムを構築



■整備完了後の取組内容の概要

運営計画「さまざまな人が自然と集まり、出会い、挑戦できる、まちのコミュニティセンターに。」

衣川會館は、市内外からひとがもっと気軽に集まれる、コミュニティセンターのような場を目指して2016年春に1階部分を改修しオープンしました。ここに、本事業により改修した2階コワーキングスペースを稼働させることにより、より一層さまざまな立場の人々が自然な交流を発生させ、活気あふれる場づくりを実現していきます。

以降は以下を実施予定。

- ・イベントの実施：施設披露目会、月1回の地域市の実施、BBQ等の交流会
- ・施設内覧会：3月26日 11:00/13:00

移動人員・採用について

- ・都市部からの移動人数目標：10名/2017年度
- ・地元雇用について：常時1名のコワーキングスペース管理者を配置できるよう、複数名採用予定



(参考①) 整備した拠点について

衣川會館 coworkingスペース さまざまな人が自然と集まり、出会い、挑戦できる、まちのコミュニティセンターに。

衣川會館は、宿場町として古い歴史を持ち、伝統的な商家が立ち並ぶ佐治に位置しています。1階はセミナーや交流会、市場などイベントの実施だけでなく、ふらっと立ち寄れる開かれた居場所として運営されています。その2階をテレワーク可能な施設とすることで、さらに多くの出会いや新たな取組が生まれる場を目指します。



ミーティング
スペース

6名利用可。
ディスプレイ設置しているためリモート会議が可能。開発したオンラインしごと相談システムの利用も可能。



オープン
スペース

8席。
1階を見渡せる開放的な空間で自由な交流ができる。



ミニオフィス

計2席。
集中してオフィスワークをしたいときに。



シェアオフィス
A

収容人数2名。
施錠できる個室のためセキュアな環境でのテレワークが必要な方向け。



シェアオフィス
B

1階。収容人数4名。施錠可能。
独立した部屋になるため、セキュアな環境での業務が必要な方向け。

● 改修箇所(2階/1階一部)

設備

- ・Wifi
- ・鍵付ロッカー
- ・オープンキッチン
- ・プリンタ

料金

<ドロップイン>

～半日 : 500

1日 : 1,000

<月額会員>

オープン : 10,000/月

ミニ : 10,000/月

シェア : 15,000/月

ロッカー利用 : 1,000/月

1階コミュニティスペースの存在により、地元の交流拠点として市内外の人が行き来が活発になりつつある。ここに、仕事の拠点を追加し個人ないし法人の行き来が加わることで、さらに交流が活発になることが狙い。今後、勉強会や交流イベントのほか、地域創生、企業研修にも活用していくことができる。

衣川會館でのテレワークの様子はコチラ
<https://hwc.jp/telework/tamba>

(参考②) 整備完了後の取組内容について

目標

都市部からの移動人数

今年度来年度はイベント実施しながら認知度を広め、個人法人ともに利用者を増加させる。

 H29 6名
H30 10名

個人のおためしテレワーク利用



H29 2社
H30 3社

法人の coworking space 利用

※利用促進のため企業向け短期研修実施を計画

地元採用人数

 H29 常時1名
H30 常時2名

現状、常時施設管理者がいる状態ではないため、地元住民を採用し、まずは常時1名の管理者を配置できる状態とする。

課題

1. 交通利便性

バスなど公共交通機関でのアクセスが不便。
自動車必須のため、興味をもった初訪客の誘導の難易度が高い。
イベント開催にバス送迎をセットにするなど工夫が必要。

2. おためし移住から移住へのシナリオ

2016年11月～17年2月の3ヶ月間で計4名がおためし移住に参加。お試し移住への満足度は高いが、実際移住を希望するにはまだ時間を要する。丹波市移住相談窓口と連携して関係発展に努める必要がある。

3. 施設運用

現状、施設に常時管理者がいる状態ではない。
coworking space として本格稼働するなら管理人の採用が必要となってくる。それに伴い管理コストも増大。

主な予定イベント

市内外からひとが集まり、coworking space 利用者を増やすため、直近で以下取組予定。



衣川會館 coworking space 披露目会

3/26(日) 地元住民向け披露目会

4/23(日) 14:00～16:00

「5人の仕掛け人に聞く、
地方に人が集まる仕組みづくり」

詳細 hwc.jp/tamba/shikake



内覧会

3月26日 11:00/13:00

事前申込不要

以後、定期的に開催する予定



特産品、軽食販売や展示などもりだくさんの定期市「キヌイチ(衣衣)」

毎月第4日曜日に開催。

丹波布を使った小物販売、セルフカフェやワークショップのほか、地元の人気パン屋も集結しすでに人気市に。人が集まる拠点づくりの仕掛けの1つ。

詳細 <https://www.facebook.com/kinugawahaus>



ほかにもさまざまなイベントを開催して行く予定です。